

## 第9節

国際連合などによる  
国際社会の安定化のための努力

## 1 全般

冷戦終結後、それまで十分に機能していなかった国連による平和維持の制度に対する期待が高まり、多くの国連平和維持活動（PKO）が設立された。また、近年では、紛争に適切に対処するための方法として、欧州連合（EU）やアフリカ連合（AU）のような地域的枠組みによる取組

Peacekeeping Operations

European Union

African Union

（1章（P18）参照）や、国連安保理決議により権限を与えられ、多国籍軍が治安維持や人道復興支援などにあたる例（1章（P19）参照）もみられる。さらに、平和維持のみならず、紛争防止や平和構築に向けた取組も活発化している<sup>1</sup>。

## 2 国連平和維持活動（PKO）の動向

PKOは、伝統的には、停戦の合意が成立した後に、停戦監視などを中心として、紛争の再発防止を主たる目的として行われてきたが、冷戦終結後、その任務は、武装解除の監視、選挙や行政監視、難民帰還などの人道支援など、文民の活動を含む幅広い分野にわたるようになった。また、国連憲章第7章の下で、強力な権限<sup>1</sup>を与えられる活動も設立されるようになった<sup>2</sup>。

さらに、活動の人的規模も顕著な拡大を見せている。派遣人員数は、冷戦終結後に大きく上昇し、バルカン半島やソマリアへの大型PKOミッション派遣が行われていた93（平成5）年には約78,000人を記録した。その後一時は

約12,000人にまで減少したが、00（同12）年頃からアフリカ、中東を中心に大型ミッションが増加したことにより再び上昇に転じ<sup>3</sup>、本年5月末現在、全世界で17のPKOミッションが展開し、117か国、約88,000人が参加している<sup>4</sup>。

（図表 I-2-9-1 参照）

その一方で、近年のPKOをめぐる環境は厳しさを増している。社会基盤が整備されていない地域への派遣が増加しているほか、要員の犠牲者に占める病死者の割合も増加している<sup>5</sup>。こうした状況は、要員・機材の確保の問題や要員の安全確保の問題などをもたらしている。

1-1) 昨年10月に紛争防止などに関する国連政務局の体制の強化が提案された（参照>本節3）ほか、05（平成17）年末に設立が決定された平和構築委員会は、06（同18）年に降格格的な活動を開始し、昨年末現在、ブルンジ、シエラレオネ、ギニアビサウの3か国を対象国に取り上げている。

2-1) たとえば、近年設立されたミッションにおいては、文民の保護や国連施設の警護、治安維持などのために、必要なあらゆる措置をとることが認められている場合がある。

2) 本年3月には、約60年にわたるPKOで得られた教訓の蓄積や、現代におけるPKOの性質や任務についてまとめた「国連PKO：原則と指針」（いわゆるPKOキャブストーン・ドクトリン）が公表されるなど、知識基盤の整備も進められている。

3) 特にここ数年は大型化の傾向にあり、本年5月末現在で8,000人以上の要員で構成されている大型の7ミッションのうち、5ミッションは過去5年以内に設立されており、2ミッションも過去5年以内に8,000人以上まで規模が拡大されたものである。

4) 展開先はアフリカが主体であり、派遣人員総数約88,000人のうち7割に当たる約61,000人がアフリカに派遣されている。

5) PKOなどにおける国連要員の犠牲者数は、これまでの総計が2,474人（本年5月末時点）に達しており、昨年1年間では90人（うち43人が病死者）であった。特に過去5年間での犠牲者（554人）のうち、病死者は275人にのぼり、事故（151人）、敵対行為（90人）による犠牲を大きく上回っている。

図表 I - 2 - 9 - 1 活動中の国連平和維持活動一覧



(注) 国連による (2008年 5 月末現在)。

アフリカ

	ミッション名	設立	派遣人員	派遣上位 5 カ国 (派遣人員)
①	国連西サハラ住民投票監視団 (MINURSO)	1991. 4	230	マレーシア (32)、エジプト (29)、ロシア (15)、中国、ガーナ (14)
②	国連コンゴ民主共和国ミッション (MONUC)	1999.11	18,428	インド (4,697)、パキスタン (3,641)、バングラデシュ (1,601)、ウルグアイ (1,369)、南アフリカ (1,175)
③	国連エチオピア・エリトリアミッション (UNMEE)	2000. 7	328	インド (161)、ウルグアイ (38)、ケニア (22)、ヨルダン (18)、米国など 3 か国 (5)
④	国連リベリアミッション (UNMIL)	2003. 9	12,934	パキスタン (3,435)、バングラデシュ (2,436)、ナイジェリア (1,838)、エチオピア (1,801)、ガーナ (759)
⑤	国連コートジボワール活動 (UNOCI)	2004. 4	9,174	バングラデシュ (2,980)、ヨルダン (1,447)、パキスタン (1,271)、モロッコ (725)、ガーナ (550)
⑥	国連スーダンミッション (UNMIS)	2005. 3	9,924	インド (2,696)、パキスタン (1,611)、バングラデシュ (1,593)、エジプト (852)、ケニア (846)
⑦	ダルフール国連・アフリカ連合同ミッション (UNAMID)	2007. 7	9,563	ナイジェリア (3,093)、ルワンダ (2,670)、南アフリカ (686)、セネガル (624)、ガーナ (488)
⑧	国連中央アフリカ・チャドミッション (MINURCAT)	2007. 9	145	フランス (19)、エジプト (13)、ベニン、ブルキナファソ、コートジボワール (12)

中東

	ミッション名	設立	派遣人員	派遣上位 5 カ国 (派遣人員)
⑨	国連休戦監視機構 (UNTSO)	1948. 5	153	フィンランド (15)、アイルランド、オランダ、ノルウェー (12)、オーストラリア (11)
⑩	国連兵力引き離し監視隊 (UNDOF)	1974. 6	1,046	オーストリア (382)、ポーランド (346)、インド (189)、スロバキア (95)、日本 (30)
⑪	国連レバノン暫定隊 (UNIFIL)	1978. 3	12,383	イタリア (2,793)、フランス (1,731)、スペイン (1,139)、インド (882)、ガーナ (871)

## アジア

	ミッション名	設立	派遣人員	派遣上位5カ国（派遣人員）
⑫	国連インド・パキスタン軍事監視団 (UNMOGIP)	1949. 1	45	韓国 (9)、クロアチア (8)、イタリア、スウェーデン (7)、フィンランド (6)
⑬	国連東ティモール統合ミッション (UNMIT)	2006. 8	1,543	マレーシア (209)、ポルトガル (200)、バングラデシュ (197)、パキスタン (182)、フィリピン (133)

## 欧州・CIS

	ミッション名	設立	派遣人員	派遣上位5カ国（派遣人員）
⑭	国連キプロス平和維持隊 (UNFICYP)	1964. 3	925	アルゼンチン (299)、英国 (270)、スロバキア (196)、ハンガリー (84)、アイルランド (19)
⑮	国連グルジア監視団 (UNOMIG)	1993. 8	149	ドイツ (16)、パキスタン (11)、バングラデシュ (8)、ハンガリーなど4カ国 (7)
⑯	国連コンボ暫定行政ミッション (UNMIK)	1999. 6	1,963	パキスタン、ウクライナ、米国 (185)、ルーマニア (184)、ドイツ (135)

## 米州

	ミッション名	設立	派遣人員	派遣上位5カ国（派遣人員）
⑰	国連ハイチ安定化ミッション (MINUSTAH)	2004. 6	9,055	ブラジル (1,296)、ネパール (1,267)、ウルグアイ (1,179)、ヨルダン (1,024)、スリランカ (993)

### 3 国連の組織改革

昨年、国連の組織改革において、いくつかの重要な動きがみられた。

PKOに関しては前述のような状況の下、国連事務局のPKO維持・管理能力を強化するため、6月にPKO局の機能の一部を独立させる形で、PKOの人事・予算・後方支援などを担当するフィールド支援局が新設された。

また10月には、国連の予防外交・調停能力の向上を目

指して、政務局の強化が提案された。この提案に関する国連事務総長報告は、紛争防止を平和維持と並ぶ平和・安全保障分野の柱として位置づけ、地域担当部署の強化と予算・人員の増加を求めている。

なお、昨年は、軍縮・不拡散を担当する軍縮局が軍縮部へと改組されている。